



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	17,251	2.2	3,747	△1.1	4,181	322.0	3,048	249.1
29年3月期第1四半期	16,885	38.3	3,791	217.9	990	△55.3	873	△38.6

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 3,053百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △719百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	88.40	88.26
29年3月期第1四半期	25.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	143,423	107,125	74.7
29年3月期	141,931	104,879	73.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 107,068百万円 29年3月期 104,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,000	28.3	8,000	45.4	8,000	246.2	5,300	214.8	153.60
通期	73,000	16.9	15,000	33.2	15,000	49.4	10,000	38.9	289.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	36,600,000株	29年3月期	36,600,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	2,093,783株	29年3月期	2,117,503株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	34,487,254株	29年3月期1Q	34,217,813株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(表示方法の変更)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	9
受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における経済の動向は、米国では良好な個人消費を支えに順調に景気拡大が続いており、欧州でも緩やかな景気回復が継続しています。中国においても堅調な内需に加えて輸出が回復傾向にあり高い成長率を維持しています。わが国においても雇用環境が改善し、企業収益も総じて改善するなど景気は回復基調となっています。

このような経済情勢の中、当社グループは世界各地のユーザーのニーズに応えるべく、各産地に密着した提案営業を展開しました。

コア・ビジネスである横編機事業の状況は、アジア地域では先進国向けニット製品の生産拠点であるバングラデシュやASEAN諸国において、生産リードタイムの短縮化を実現する編成効率の高いコンピュータ横編機の導入が進み、「SSR」や「SVR」などの主力機種種の売上が順調に拡大しました。また中国市場においても、内需向けに高付加価値製品の生産に取り組むSPA型のニットメーカーにホールガーメント横編機の導入が進展したことや、スポーツシューズ向けにコンピュータ横編機の活用が高まったことなどで売上が拡大しました。

欧州でも主力産地のイタリアにおいてホールガーメント横編機の販売が伸長しましたが、地域全体では前年同期並みとなりました。一方、中東のトルコでは政情不安から設備投資が低迷し、売上高は減少しました。また国内市場においてもコンピュータ横編機の売上高は前年同期を下回る推移となりました。

これらの結果、横編機事業全体では売上高は145億55百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

デザインシステム関連事業においては、「SDS-ONE APEX3」や自動裁断機「P-CAM」の販売が堅調に進んだことで売上高は8億44百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

手袋靴下編機事業は、大手ユーザーの設備更新が進み売上高は3億24百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

その他事業につきましては、売上高は15億26百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

これらの結果、当第1四半期全体の売上高は172億51百万円（前年同期比2.2%増）となりました。利益面におきましては、営業利益はほぼ前年同期並みの37億47百万円（前年同期比1.1%減）となりました。一方、営業外では前期に計上した大幅な為替差損が為替差益に転じたことで経常利益は41億81百万円（前年同期比322.0%増）と大幅に増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億48百万円（前年同期比249.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は受取手形および売掛金の増加などで前期末に比べ14億91百万円増加し、1,434億23百万円となりました。負債合計は買掛債務の減少などで前期末に比べ7億53百万円減少し、362億98百万円となりました。また自己資本の額は、1,070億68百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて0.9ポイント上昇し74.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月1日に発表しました平成30年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。なお、個別業績予想についても同様であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,160	15,883
受取手形及び売掛金	67,268	69,871
たな卸資産	17,578	17,800
その他	3,573	4,210
貸倒引当金	△1,844	△2,299
流動資産合計	105,736	105,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,755	5,668
土地	10,962	11,221
その他(純額)	5,103	5,376
有形固定資産合計	21,821	22,265
無形固定資産		
のれん	3,873	3,747
その他	273	314
無形固定資産合計	4,146	4,062
投資その他の資産		
投資有価証券	8,058	8,855
退職給付に係る資産	778	805
その他	2,974	3,161
貸倒引当金	△1,583	△1,193
投資その他の資産合計	10,226	11,628
固定資産合計	36,194	37,957
資産合計	141,931	143,423

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,220	4,280
電子記録債務	2,457	1,915
短期借入金	9,975	8,960
1年内返済予定の長期借入金	5,000	5,000
未払法人税等	2,120	1,489
賞与引当金	865	1,653
債務保証損失引当金	479	489
その他	6,332	7,736
流動負債合計	32,450	31,524
固定負債		
長期末払金	1,051	1,051
リース債務	1,890	2,063
退職給付に係る負債	921	930
その他	736	728
固定負債合計	4,600	4,773
負債合計	37,051	36,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	80,480	82,662
自己株式	△6,140	△6,072
株主資本合計	110,923	113,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	919	1,179
土地再評価差額金	△7,003	△7,003
為替換算調整勘定	△250	△507
退職給付に係る調整累計額	226	224
その他の包括利益累計額合計	△6,108	△6,105
新株予約権	55	44
非支配株主持分	8	12
純資産合計	104,879	107,125
負債純資産合計	141,931	143,423

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	16,885	17,251
売上原価	8,616	8,953
売上総利益	8,269	8,297
販売費及び一般管理費	4,478	4,550
営業利益	3,791	3,747
営業外収益		
受取利息	89	109
受取配当金	103	98
デリバティブ利益	85	43
為替差益	-	112
その他	70	140
営業外収益合計	349	505
営業外費用		
支払利息	12	42
為替差損	3,113	-
固定資産賃貸費用	10	17
その他	13	11
営業外費用合計	3,149	70
経常利益	990	4,181
税金等調整前四半期純利益	990	4,181
法人税、住民税及び事業税	266	1,462
法人税等調整額	△148	△331
法人税等合計	117	1,131
四半期純利益	873	3,050
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	873	3,048

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	873	3,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△130	260
為替換算調整勘定	△1,459	△256
退職給付に係る調整額	△3	△1
その他の包括利益合計	△1,593	2
四半期包括利益	△719	3,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△719	3,051
非支配株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

海外連結子会社は、税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「固定資産賃貸費用」は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため、当第1四半期連結累計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた23百万円は、「固定資産賃貸費用」10百万円、「その他」13百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,238	823	284	15,345	1,540	16,885
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,238	823	284	15,345	1,540	16,885
セグメント利益	4,738	221	38	4,998	197	5,195

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,998
「その他」の区分の利益	197
全社費用(注)	△1,404
四半期連結損益計算書の営業利益	3,791

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,555	844	324	15,724	1,526	17,251
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,555	844	324	15,724	1,526	17,251
セグメント利益	4,828	177	77	5,082	159	5,242

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,082
「その他」の区分の利益	159
全社費用(注)	△1,494
四半期連結損益計算書の営業利益	3,747

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	16,327	171.4%	13,547	196.6%
デザインシステム関連	1,178	137.7%	641	151.6%
手袋靴下編機	624	103.2%	528	94.6%
合計	18,130	165.0%	14,718	186.9%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	14,555	102.2%
デザインシステム関連	844	102.5%
手袋靴下編機	324	114.3%
その他	1,526	99.1%
合計	17,251	102.2%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。